
膜シンポジウム2016 学生賞報告

膜シンポジウム2016 運営副委員長 学生賞担当 中野 実

今回のシンポジウムでも、優れた発表を行った学生に対する学生賞を設定しました。合計で61名の学生さんがエントリーし、初日午前に行われた1分間のショートプレゼンテーション、ならびに午後の約45分間のポスター発表に挑みました。今回は各ポスターの審査員を2名から3名に増やし、下記31名の審査員が全てのショートプレゼンの審査と、5件もしくは6件のポスター発表の審査を担当しました。ポスターの審査員を増員したことで審査の公平性が高まるとともに、発表者は幅広い分野からの質問を受けることになり、より広い知識と深い思考力が求められるようになりました。

ショートプレゼンは年々、発表技術が向上していると感じます。1分以内に終える、ということが浸透しており、研究の背景・目的から実験・結果の概要、成果の意義までを分かりやすく説明される方が多くなりました。ただ、「結果についてはポスターで発表します」と述べて終わる方も目立ちました。ポスターに興味を持ってもらう手法としては、それでもいいのですが、評価を受ける、ということを考えてれば、やはり、結論までを伝えるほうが良いと、個人的には感じました。

厳正なる審査の結果、エントリー数の約20%にあたる12件を学生賞に選出しました。受賞された12名の方々、本当におめでとうございます。また惜しくも選にもれた方も、もし来年度もチャンスがあるなら是非リベンジに燃えて欲しいと思います。

最後になりましたが、審査員をお引き受け下さった先生方、プレゼンスライドや採点資料の作成と集計という大変な作業をご担当頂いた関西大の河村暁文先生、会場運営にご協力下さった宮田研究室のみなさんに御礼を申し上げます。

学生賞審査員（敬称略）

池田恵介・大橋秀伯・岡村恵美子・神尾英治・河村暁文・清野竜太郎・斎藤博幸・佐伯大輔・澤田真一・島内寿徳・新谷卓司・須丸公雄・菅 恵嗣・瀬下雅博・高羽洋充・田中一宏・谷口育雄・中川敬三・南雲 亮・長澤寛規・中野 実・野村幹弘・原 伸生・比嘉 充・星野 友・安川政宏・八巻徹也・湯元良子・吉岡朋久・吉水広明・吉本 誠

学生賞受賞者：（掲載はポスター番号順）

水口智晴（徳島大学大学院薬科学教育部，京都薬科大学）
P-2S 「アミロイドーシス変異アポA-I Iowaの脂質膜結合状態の解析」

仲 亮輔（広島大学大学院医歯薬保健学研究科薬科学専攻）
P-6S 「肺胞上皮細胞における異物排出ポンプP-glycoproteinの発現と機能に及ぼすタバコ煙抽出物の影響」

中浦 宏（関西大学大学院理工学研究科化学生命工学専攻）
P-13S 「ミニエマルション表面での精密重合を利用した刺激応答性ゲルカプセルの創製」

宮下若菜（神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻，先端膜工学センター）
P-23S 「高分子多孔膜を支持体とした supported lipid bilayer への生体分子の導入」

奥山浩人（東京工業大学大学院総合理工学研究科化学環境学専攻）
P-24S 「検体透過式検出法を用いた生体分子認識ゲート膜の細孔開閉制御」

村木幸弘（名古屋工業大学大学院工学研究科物質工学専攻）
P-27S 「ミクロな滞留時間に着目した各種溶媒中のCO₂拡散メカニズム解析」

村田将章（広島大学大学院工学研究科化学工学専攻）
P-33S 「Fドーポオルガノシリカ膜の細孔径制御と気体透過特性」

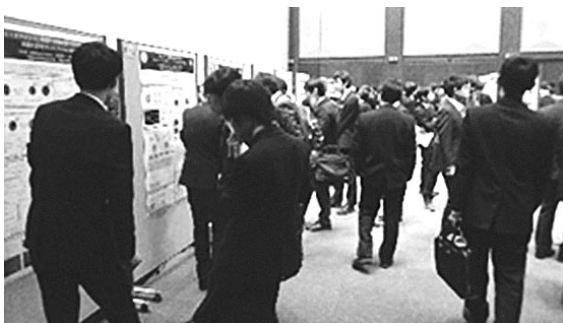
戸巻圭佑（早稲田大学院先進理工学研究科応用化学専攻）
P-37S 「異なる炭化水素種を用いた熱分解による silicalite-1 膜の細孔径制御」

矢野恭平（京都大学大学院工学研究科化学工学専攻）
P-46S 「粘弾性を考慮した高分子多孔性膜の形成シミュレーション」

甘利俊太郎（東京工業大学大学院総合理工学研究科化学環境学専攻）
P-55S 「高効率なプロトン伝導を発現するPEFC用含ヘテロ芳香族系高分子電解質膜の開発」

渋谷真史（神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻，先端膜工学センター）
P-63S 「バイオエタノール生産プロセスにおける浸透圧駆動型膜分離法を利用した糖液濃縮の検討」

樋口隼人（工学院大学大学院工学部環境エネルギー化学科）
P-65S 「超分子ポリマーを利用した新規高効率水透過膜の創製」



ポスター発表風景



学生賞受賞者